

【道の駅関係人口案内所・都市公園(子育て支援施設・フェーズフリー等)の整備ーイ】

調査名: 道の駅三矢の里関係人口案内所・(仮称)安芸高田市都市公園の一体的整備とエリアマネジメント型の官民連携手法検討調査
(調査対象箇所: 安芸高田市吉田地区) 【調査主体】広島県安芸高田市

調査対象事業の概要／施設の概要

・人口減少を背景に、都市機能(救急告示病院)の維持や将来の担い手確保に向けて、人口減少対策や関係人口の創出が喫緊の課題である。一方、道の駅三矢の里の観光客数は増加、広島市からの通勤者数も増加している。2025年通勤者アンケートでは、本市への移住関心割合は14%、仕事以外の目的で本市に滞在する方は64%存在することが判明している。道の駅三矢の里に関係人口案内所(地域体験ツアー、空き家等の情報発信・販売等)を整備し、観光客・通勤者の関係人口化、移住・定住を促進する。同時に、各支所に集落支援員を配置し、関係人口案内所の支所として高度利用化を図り、道の駅三矢の里関係人口案内所をハブとした公共施設の包括的管理も検討する。

・また、2024年に実施した子育て世代ワークショップで、親子で安心して利用できる遊び場や交流の場が不足していることも判明している。(仮称)安芸高田市都市公園(カフェ等の収益事業と子育て支援施設等の配置も検討)の整備を行い、子育て環境の充実を図り、子育て世代の定住を促進する。南海トラフ地震を想定し、広島広域都市圏の避難場所としても位置付け、フェーズフリーの視点から防災備蓄倉庫等も設置する予定である。

事業類型

・事業類型Ⅰ・Ⅱ・Ⅳの検討を行う。

検討経緯等

・従前より庁内で構想が練られており、2024年度から計画策定に着手した第3次安芸高田市総合計画(2026.3公表)において、関係各課と合意を得ながら、人口減少対策・地方創生の推進に係るリーディングプロジェクトとして位置付け、2026年3月に実施した総合計画シンポジウム等で市民に向けて周知も行っている。

・また、民間企業への事前の意向調査より、大手不動産会社・地域創生事業者から本事業への参画意向を確認しており、実現可能性が高い事業といえる。

調査の検討内容

・(仮称)安芸高田市都市公園の整備では、子育て世代やこども等と地域ワークショップを行い、計画の磨き上げを実施する。同時に、地域内外の運営候補事業者とPPP・PFIの勉強会を実施し、地域内事業者の育成と官民連携の機運を高める。事業方式は、Park・PFI・スモールコンセッションを想定しており、妥当性も検証しつつ、民間投資を誘発する。

・道の駅三矢の里関係人口案内所では、地域活性化起業人制度等を活用した関係人口コーディネーターの配置も見据えており、候補となる関係人口コーディネーターや関係人口案内所の支所の集落支援員等と対話を行い、計画の磨き上げを実施する。事業方式は、スモールコンセッションを想定している。

リーディング施設①
(仮称)安芸高田市都市公園

地域との協働・協創により、徐々にPPP・PFIの機運を高める

地域ワークショップ

まちづくり勉強会
(地域内外の運営候補事業者)

運営候補事業者

与条件の整理

リーディング施設①・②の連携を見据えて計画を整合

リーディング施設①・②の連携を見据えて同時に実施

リーディング施設②
道の駅三矢の里関係人口案内所

与条件の整理

計画の磨き上げ

概算事業費の算出

事業方式、VFM算出

サウンディング調査

各支所(関係人口案内所の支所)
※集落支援員配置は既存事業

包括的管理の可能性も検証

本市では、地域振興組織のコーディネーターとして、各支所への集落支援員の配置を進めており、2028年度には完了予定。本事業の検討に集落支援員も参画。

地域の経済・社会にメリットをもたらすことを示す指標の検討

・本事業の整備によりもたらされる地域への波及効果を、直接経済効果、間接経済効果、社会的インパクトに分けて算出する。これに当り、本事業のロジックモデル、インパクトマップ等を用いた社会的インパクト算出手法、及びこれを用いた成果連動型契約(PFS)・指標連動方式(アベイラビリティペイメント方式)の検討も行う。

・評価指標の設定に際しては、第3次安芸高田市総合計画(2026.3公表)の基本構想(計画期間20年)に位置付ける評価指標との整合性も担保し、本事業で短期的に効果が期待される観光客・関係人口の増加等、中長期的に効果が期待される幸福度・満足度の向上等を候補として検討する。なお、本市では、第3次安芸高田市総合計画の評価・検証に向けて、毎年、市民アンケート調査を実施するため、社会的インパクトをモニタリングするための仕組みは構築済みである。

必要経費
(補助金要望額)

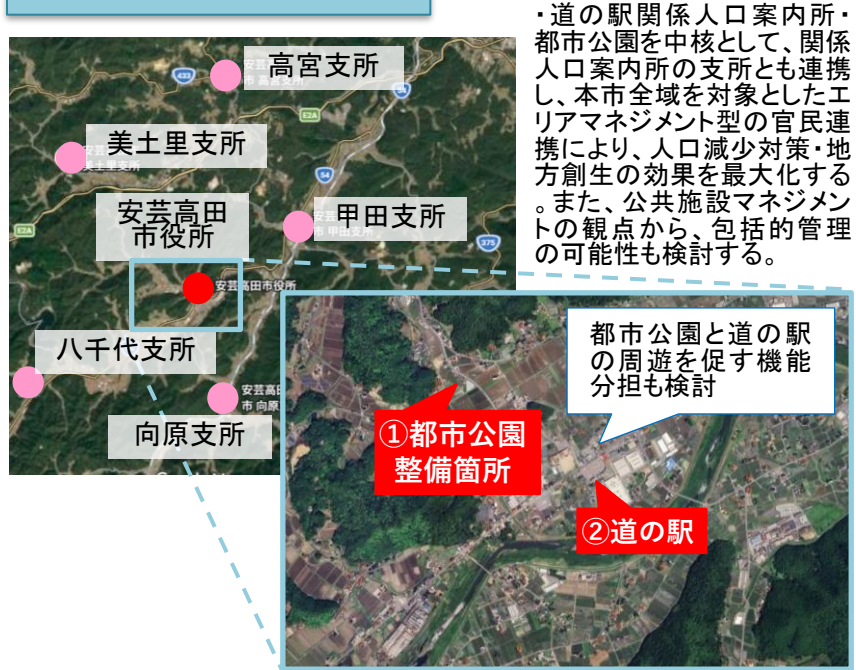
PPP・PFI導入可能性調査委託費
10,000千円
(うち、補助金10,000千円)

【道の駅関係人口案内所・都市公園(子育て支援施設・フェーズフリー)の整備ーイ】

調査名: 道の駅三矢の里関係人口案内所・(仮称)安芸高田市都市公園の一体的整備とエリアマネジメント型の官民連携手法検討調査
(調査対象箇所: 安芸高田市吉田地区)

【調査主体】広島県安芸高田市

事業／施設の位置図



▲ 安芸高田市吉田地区 (中心部)



▲ (仮称)安芸高田市都市公園の整備箇所 (位置: ①)
※災害リスクが低い場所



▲ 道の駅三矢の里あきたかた (位置: ②)
※関係人口案内所を併設

検討の成果及び調査実施後のスケジュール

想定事業		2026	2027	2028	2029	2030	2031
PFI	道の駅三矢の里関係人口案内所	導入可能性調査	○事業者選定【2027年】 8月:官民対話 9月:実施方針案 12月:特定事業選定【2028年】 1月:公募・広告				エリアマネジメント型の官民連携の推進
	(仮称)安芸高田市都市公園						
	収益事業						
関係人口案内所の支所 (旧町支所)		集落支援員等の関係者も連携	・全支所への集落支援員の配置が完了 ・支所機能の高度化				
関連事業		第3次安芸高田市総合計画の計画期間 (リーディングプロジェクト)			第3次安芸高田市総合計画の継続的な推進		

事業計画／検討内容に係る図表

